

## 令和6年度（第56回）ガンカモ類の生息調査の実施結果について（概要）

- 1 調査日 令和7年1月11日～13日（基準日は1月12日）
- 2 調査箇所 県内336か所の渡来地を調査し、246か所で飛来を確認
- 3 調査人員 85人（鳥獣保護巡視員・保護団体関係者・狩猟団体関係者等）
- 4 調査結果概要

### (1) ハクチョウ類

- ① オオハクチョウ4,279羽、コハクチョウ2,454羽、種不明56羽の合計6,789羽が記録された。
- ② 令和3年度より増加が続いていたオオハクチョウは、昨年度と同程度の渡来数となった一方、コハクチョウは昨年度の3.6倍に大きく増加し、過去最多となった。  
これは、例年結氷する三郎堤（花巻市）が結氷せずに、多数（1,391羽）の個体が集合したことが影響している。

### (2) ガン類

- ① コクガン（いわてRDB：絶滅危惧Ⅱ類、環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類、国の天然記念物）は、山田湾で1羽のみが確認された。  
例年、渡来数には大きな年変動があるが、1羽まで少なくなったのは平成16年度以来の20年ぶりだった。
- ② マガン（環境省RDB：準絶滅危惧種、国の天然記念物）は、合計3,432羽が確認され、近年と同程度の渡来数だった。  
なお、北上市で記録された6羽以外はすべて一関市内での確認だった。
- ③ ヒンクイ（いわてRDB：準絶滅危惧、環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類）は、盛岡市、矢巾町、紫波町の境界周辺で12羽記録された。
- ④ シジウカラガン（いわてRDB：準絶滅危惧、環境省RDB：絶滅危惧ⅠA類）は、北上市の和賀川で62羽確認され、平成30年度の29羽を超える過去最多の渡来数となった。

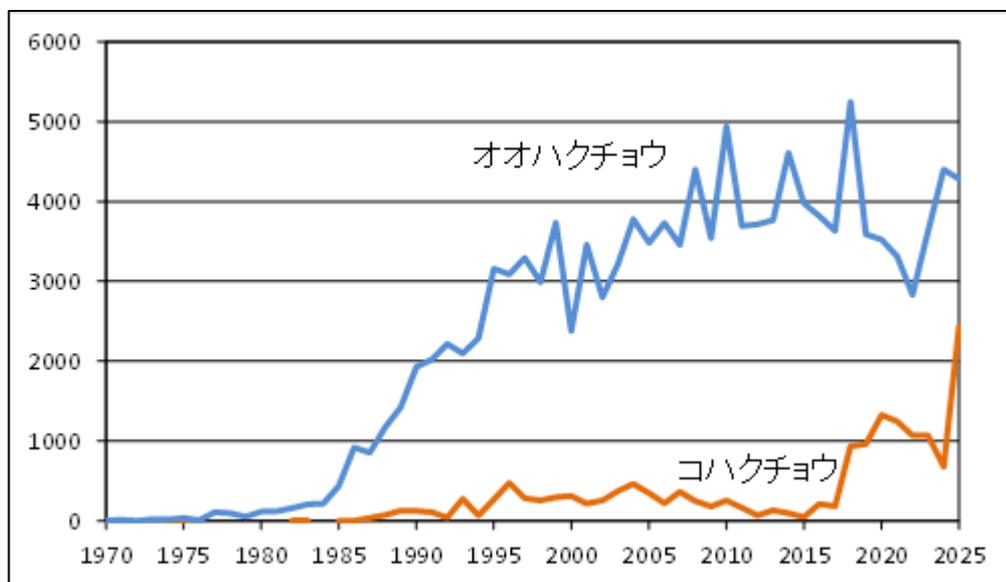
### (3) カモ類

- ① 合計渡来数は22,399羽で、昨年度より約1,200羽少ないが、おおむね平年並みの渡来数となった。
- ② 合計1,000羽を超えるカモ類が記録された調査地点は、北上川－都南大橋（盛岡市）、北上川－都南中央橋・徳田橋（盛岡市）、新堤（北上市）、御所湖（雫石町）、三郎堤（花巻市）の5か所だった。
- ③ カルガモやオナガガモは昨年度に比べて大きな変化はなかったが、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ウミアイサといった潜水性カモ類は、やや増加の傾向を示した。
- ④ 希少種ではトモエガモ（いわてRDB：絶滅危惧Ⅱ類、環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類）が、雫石川（盛岡市）や三郎堤（花巻市）で合計4羽確認されたほか、シノリガモ（いわてRDB：準絶滅危惧、環境省RDB：絶滅のおそれのある地域個体群）も洋野町内で合計56羽記録された。

5 過去10年間の個体数（単位：羽）

区分 年度	ハクチョウ類	ガン類	カモ類							合計
			オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	オナガガモ	その他	計	
27	4,033	3,122	40	6,461	7,094	2,375	6,995	5,056	28,021	35,176
28	3,850	4,447	69	5,780	7,070	3,141	2,562	4,344	22,966	31,263
29	6,219	179	21	5,259	7,003	2,344	2,330	4,377	21,334	27,732
30	4,610	2,392	5	5,435	7,469	1,923	2,843	4,590	22,265	29,267
1	4,851	1,404	99	8,298	7,383	2,207	3,219	5,222	26,428	32,683
2	4,569	3,742	12	3,885	4,573	961	1,230	5,222	13,676	21,987
3	3,892	3,106	6	3,066	3,916	831	997	2,349	11,165	18,163
4	4,694	3,731	14	7,661	6,196	1,802	5,528	2,826	24,000	32,425
5	5,117	4,124	20	8,791	6,780	2,075	2,537	3,443	23,646	32,887
6	6,789	3,542	39	7,815	6,581	1,645	2,562	3,757	22,399	32,730

6 岩手県内におけるオオハクチョウとコハクチョウの個体数の経年変化



7 岩手県内におけるカモ類の合計個体数の経年変化

